

ふるり!大原の里

country walk

さあ、カントリーウォークに出かけよう!!

カントリーウォーク(農村歩き)は、農村をのんびり、ゆっくり歩いて、自分でいろいろ発見しながら、農村そのものを楽しもうとするものです。農村には、四季折々の農業の営み、そこの暮らしが織りなす独特の文化、歴史、景観など都会では見られなくなってしまったものが沢山残されています。また、大原の里は信仰の里として平安の昔から法灯を護り続けている寺々があります。



その歴史を訪ねたり、仏さまと対話をしたり、庭園を眺めたりのんびりと山寺巡礼もよいものです。さあ、この地図を手に、カントリーウォークに出かけてみませんか。新しい発見や、ゆとりとやすらぎを与えてくれる豊かな空間が、きっとあなたと待っているはずです。

- トイレ
- 里づくり協会の案内板
- 茅葺きの民家
- 京都バス停留所
- コース区間・徒歩所要タイム
- ビューポイント
- 名所・旧跡
- 大原の里10銘木
- お地藏さんと愛宕さん
- 駐車場(有料のところが多い)



魚山

のどかな散策道

カントリーウォークひとことアドバイス

- 地元の人に話しかける。
地元の人に話しかけ、農業、農村の知恵や工夫など見えないものを感じよう。
- 感じたものを表現してみる。
里を歩いて、見て感じたことを写真やスケッチ、俳句などいろんな形で残してみよう。
- 親子で歩く。
農業の自然や田畑は、子供の心に直接語りかけ、感性を育ててくれるでしょう。親子で一緒に出かけませんか。

カントリーウォークのマナー

- 地元の人に会ったら一言あいさつを。
- 農村は暮らしの場。無断立ち入りやゴミは禁物。
- 草花や昆虫はみんなのもの。採らないで見るだけに。
- 気に入ったら、次は友達をさそって出かけよう。
- 車は駐車場(有料が多い)に止めて出かけましょう。

制作 NPO 京都大原里づくり協会
大原里づくりトライアングル
〒601-1244 京都市左区大原上野町498
TEL 075-744-4141



大原の里ご案内

花尻の森

大原の里の入り口にあつて、5月の大原まつりの御旅所。春の頃、落椿がきれいです。

惟喬親王の墓

惟喬親王は文徳天皇の第一皇子ながら皇位に就けなかった悲運の親王で、悲しい歴史がいまも語り継がれています。

魚山

中国の声明(仏教の儀式音楽)の聖地魚山に、三千院一帯が似ていることからこう呼ばれています。かつて声明の修行の地として盛え、極楽往生を願う人々の信仰を集めた地です。



三千院

天台宗の門跡寺院。苔と池泉の庭園と往生極楽院の国宝阿弥陀三尊が有名です。また山門の紅葉と庭園の石楠花やあじさいも訪れる人の心を和めてくれます。

魚山の寺々

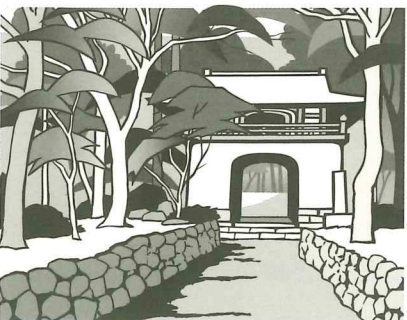
実光院、宝泉院、勝林院、来迎院などがあつて、それぞれ趣があります。実光院は、不断桜(10~3月)、宝泉院は五葉松、沙羅双樹、竹林の庭で有名。勝林院の美男の大仏さんは見上げるほどの大きさ。来迎院は重文の三如来座像をまつる。

音無の滝

ある時、高僧がこの滝に向かって声明の修行をしていると、滝の音と声明が和して滝の音が消えたという故事から名付けられた。秋の紅葉がきれいです。

阿弥陀寺

中国風の山門から歩いて30分。本堂は山の中腹にあります。夏は涼しい深山幽谷の別天地。長い参道は、新緑、紅葉が美しい。樹齢800年を超える古知谷カエデの大木があります。



民話、伝説の里

おつう伝説

むかし昔、大原におつうという娘が住んでおりました。ある日上洛の若狭の殿さまの目にふれ、おつうは玉の輿、殿さまの国元に召されたのです。それはそれは夢ごちの毎日を過ごしていましたがやがて病にかかると殿さまの心も変わって里に戻されてしまったのです。おつうは悲しみのあまり大原川の女郎ヶ淵に身を投じました。するとたちまち、その美しい姿は大蛇に変わりました。そしてある日都入りする殿さまの行列が大原の花尻橋を通るところを襲いかかったのです。あばれ狂う大蛇は家来によって一刀ののもとに切り捨てられましたが、その夜から激しい雷雨や悲鳴に見舞われました。恐れおののいた里人たちは、大蛇の頭をおつうが森に埋めて霊を鎮めました。今でも毎朝、大原の里にかかる朝もやは大蛇の姿に棚引いています。乙(おつう)が森では年に一度おつうの霊を慰める行事が残っています。



狐のお香水

むかし昔、大原の里を荒らす白狐がいて、里人たちはその害にほとほと困り果てておりました。そこで、地頭の図らいで里人総出で狐狩りをするようになりました。ところが、白狐は上野村の吉兵衛さんの三宝荒神のかまどの中に隠れて、難をのがれていたのです。その夜、吉兵衛さんは夢を見ました。その白狐が御返返しに屋敷の良(うしろ)の方を掘れば清水が湧き出て諸病の霊薬になるとしきりに教えてくれているのです。吉兵衛さんが掘ってみると、はたしてきれいな清水が湧いてきました。それが、いつしか世に広まり近郷近在はもとより、東は美濃国、西は四国などからそのお香水を汲みに来る人であふれる盛況で、ある時には付近の民家にまで泊まってにぎわったということです。今でも、1年に1回陰暦6月16日に「お香水さん」といって吉兵衛さん宅を訪ねる信者が多いということです。



雨乞いのズンゴイノ

雨が降らない年がありました。いよいよ田植えの六月を迎えても一向に降りそうにありません。そこで、困り果てた里人は霊山である金比羅山の山頂で雨乞いをすることにしました。強い陽ざしの中を、里人たちは笠笠をつけ、手には思い思いの鳴りものを持って里中から集まってきました。



太鼓をたたいて「雨乞いのズンゴイノ、雨たもれズンゴイノ」。でもなかなか降る気配はありません。鐘を鳴らして「雨乞いのズンゴイノ、雨たもれズンゴイノ」。そして六月の長い日が暮れかかるころ。恵みの雨がポツリポツリと落ちてきました。里人は両手で受けて大喜び、帰り道にはもうすっかり大雨となりました。間もなく田植えがはじまり、その年は例年にない豊作であったことはいうまでもありません。秋には御礼まいりとして、麓の江文の宮に花笠おどりを奉納したとのことでした。

① 数椿群	戸寺町	花尻の森
春には、落椿で真赤な絨毯となります。		
② 勤次郎の桜	戸寺町	松田邸
樹齢120年以上。ひがみ桜系の淡桃色の花の頃は見事です。		
③ 上野の一本杉	上野町	浄楽堂
幾度と落雷や台風に耐えてきました。		
④ 梅宮の榎	大長瀬町	梅ノ宮神社
かつては、榎の木は大原の里に多くありましたが墓蝨材などに活用されて今は珍しくなりました。		
⑤ 山桜ともみじ並木	来迎院町	大長瀬川沿
春の花の頃と秋の紅葉が見事です。魚山のお寺への参道になっています。		
⑥ 霧島つつじ	勝林院町	飛田邸
樹齢300年。4月下旬頃には、真紅の花が咲き揃って鮮やかです。		
⑦ 古知谷カエデ	古知平町	阿弥陀寺
樹齢800年。京都市天然記念物指定。		
⑧ あすなろ	小出石町	八幡神社
樹齢約500年。京都市の指定巨木に指定。		
⑨ もみじ谷	草生町	落合の滝~寂光院
川沿いに寂光院までもみじ並木が続いています。		
⑩ 江文の大杉	井出町	江文神社
江文神社は、大原の里の氏神さま。大杉群が鎮守の森を形成しています。		
●それぞれ案内板が立っています。		

- ① 水井山(794m)
- ② 大尾山(681m)
- ③ 瓢箪崩山(532m)
- ④ 金毘羅山(573m)
- ⑤ 翠黛山(577m)
- ⑥ 焼杉山(718m)
- ⑦ 天ヶ岳(788m)
- ⑧ ナツチヨ(813m)
- ⑨ 皆子山(972m)
- ⑩ 峰床山(970m)

●それぞれ登山口や頂上に案内板が立っています。

●お問い合わせ

NPO 京都大原里づくり協会
TEL075-744-4141

大原観光保勝会
(宿泊、大原女まつりについて)
TEL075-744-2148

里の駅・大原
TEL075-744-4321

京都バス(大原案内所)
TEL075-744-2946

カントリーウォークについて
TEL090-4641-9280

大原の里カレンダー

季節	農業の営み			里の自然			里の暮らし		
	水田	紫蘇畑	畑の収穫	野山の産物	動物や草花	気象	食べ物	お祭り、行事	
春(3~5月)	田の荒起こし(3月) 苗づくり(4月) 田植え(5月)	苗床の種まき(3月) 育苗草引き(4月) 移植(5月)	菜の花 えんどう豆 ほうれん草 小松菜	いたどり、山落 うど、ぜんまい たらの芽、つくし 露のとう、よもぎ わらび、たけのこ 山椒	蝶(~秋) 蛙(~夏) おたまじゃくし うぐいす、ひばり きじ	霧島つつじ、梅、桜、椿 菜の花、れんげ、石楠花、 かたくり、もくれん、藤、山吹 馬酔木、みやこわすれ、しらん たにうつぎ、ゆきのした、しゃが さつき、桃、猫柳、やぶでまり しょうじょうばかま、おおなるこゆり あじさい、たんぽぽ	春がすみ 菜たね梅雨 臘月	ねぎのぬた 山落の煮物 よもぎ餅 ちまき 菜の花漬 菜の花のからし合え たくあん 山椒こんぶ	大原まつり(5/4 江文神社) 大長瀬まつり(5/5 梅宮神社) 御饗法講(5/30 三千院) 大原女まつり(5/16~5/31 大原観光保勝会) さくら、しゃくなげ祭(4/中旬~5/上旬 三千院)
夏(6~8月)	あぜ草刈り(6月) 病害虫の消毒、防除(7~8月) 水まかし(6~8月) 出穂(8月上旬)	中耕、追肥(6月) しば漬の漬込み(7~8月) 梅ぼしの漬込み、土用ぼし(7月)	紫蘇 とうがらし トマト、ピーマン きゅうり、なす じゃがいも、たまねぎ かぼちゃ おくら、赤ずいき にがうり	野いちご 山いちご げんのしょうこ(薬用) 十薬(薬用) 笹(ちまき用)	とんぼ(~秋) ほたる つばめ せみ バッタ、いなご かまきり くわがた かぶと虫 ぶんぶん、へび	あじさい、夏椿、ねむ 紫蘇、げんのしょうこ やぶかんぞう、あざみ つゆ草、ささゆり、どくだみ しゅうかいどう、たちあおい おにゆり、みそはぎ、さるすべり ひまわり、むくげ、やぶらん ほおづき、おしろい花、ほたるぶくろ ふしぐろせんとう	梅雨 夕立 台風	豆ごはん どぼ漬 焼なす 冷やし汁 きゅうりの酢のもの 焼とうもろこし 鮎	あじさい祭(6/中旬~7/中旬 三千院) 地藏盆(8/23) 万灯会(8/14~15 三千院) 御香水
秋(9~11月)	稲刈り(9月) 秋の田起こし(11月)	新漬の漬上がり(食べ頃)	みょうが 大豆(枝豆) 大根 にんじん ごぼう さつまいも 白菜 里いも	あけび、柿 松茸 むかご 栗、袖 しめじ	もず ひよどり すずめ きりぎりす スズムシ コオロギ	北山しくれ 霜 虹 名月	ぼた餅 鯖ずし ずいきの煮物 芋づるの煮物 切りほし大根 しば漬 いも煮 なます	八朔踊(9/1前後の土曜日 江文神社) 御湯(10月中旬各地域) もみじ祭(10月下旬~11月下旬 三千院) お火焚	
冬(12~2月)		しそ畑のすき込み	大根 白菜 ねぎ 壬生菜 すぐき かぶ	藪いちご	ひよどり すずめ つぐみ いかる	雪 霜柱 つらら	なっとう餅 甘酒 干し柿 干しいも はったい粉 正月の雑煮 ぼたん鍋 白菜漬 きり漬	除夜の鐘(12/31 浄蓮華院、勝林院) 修正会(1/1 三千院 1/2来迎院 1/3勝林院) 左義長(1/15 三千院ほか) 大根だき(2/11前後 三千院) 灌頂釣り(2/10 乙が森)	